

原水爆禁止2020年世界大会はオンライン大会です

あなたの参加で 成功させよう

私たちは声に出して言い続けます
「人類と核兵器は
共存できない」と



サーオー節子さん

被爆者・
2017年ノーベル賞受賞演説者

私たち被爆者は声に出して、「核兵器の禁止を!」と叫んできました。その行動は決して無駄ではなかった。2017年7月7日、国連で核兵器禁止条約が採択されたことは、この上ない喜びでした。圧倒的多数の加盟国代表が、市民社会の理性の声に耳を傾け、民主主義の力を発揮したのです。

核兵器がもたらすものは死滅と破壊であり、それによって守られる平和や安全などないのです。

日本が核兵器の悲惨さを体験した国であり、過去の戦争の反省から武力を放棄した国であることを忘れないください。日本こそ核兵器禁止条約に入り、リードすべき国なのです。

核兵器よりコロナ対策・地球環境に支出を

大企業は 軍拡競争に手を貸すな



シャラン・バローさん

国際労働組合総連合 (ITUC) 書記長
(原水爆禁止世界大会・ニューヨークの発言より)

戦争と核兵器は、労働組合運動が目指す世界の対極にあるものです。

大企業は、自らの社会的責任を投げ捨てて、大量破壊兵器の製造で利益を得ています。企業の利益追求が、軍拡競争に拍車をかけているのです。そして、政治家は国民の安全ではなく、自らの利益のためにそれに手を貸しています。

核兵器更新に費やす資金を医療、教育、人々の役に立つ産業での雇用、国民皆保険に充てれば、世界のすべての人々は、次に危険が訪れてもそれに耐えられる力を蓄えることができるでしょう。

核兵器廃絶の先頭に立つ日本へ 9条生かす政治に変えよう

核兵器禁止条約に調印した国は81、批准した国は38か国に達し、発効要件の50か国に一步一步近づいています。ところが、日本政府は世界の流れに反して、「アメリカの核に守ってもらう」姿勢に固執しています。核兵器禁止条約を審議した国連会議に参加すらせず、条約に反対し続けています。被爆者が条約への参加を求めても安倍首相は拒否し、被爆者から「あなたは一体どこの国の首相ですか」と厳しく非難される始末です。

今こそ、一人ひとりが声を上げ、政府の姿勢を変えましょう。市民と野党の共闘で、核兵器禁止条約に参加する政治を実現しましょう。

日本は核兵器禁止条約に
参加すべき?

参加しなくても良い
17.1%

わからない・
無回答 17.0%

参加すべき
65.9%

現在
批准は
38カ国

あと
12カ国

出典: NHK世論調査
(2019年12月政治意識月例調査)

核兵器は私たちを守ってくれるものではない

核兵器の使用がもたらす壊滅的な破壊を考えなくてはなりません。核兵器から解放された平和な世界。それは、あらゆる場所で、数えきれないほどの人々が熱望していることです。この理想を実現するには、すべての人の参加が必要です。



ローマ教皇 (公式ツイッターより)